

キーパーのプロのための最新情報誌

KeePer TIMES

「キーパータイムズ」 2017年5月号 vol.171

発行所／KeePer技研株式会社 愛知県大府市吉川町4-17
TEL.0562-45-5258 FAX.0562-45-5268

発行人／谷 好通

発行部数／20,000部

(札幌、仙台、新潟、東京、神奈川、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島)

<http://www.sensya.com>

キーパー コーティング 検索

0120-517-158

無断コピー・複製を禁ず

キーパーコーティングは、スポーツだ！プロフェッショナル45名たちの熱い2日間

第4回 2017年 キーパー技術コンテスト

全日本チャンピオン決定戦レポート

全国のキーパーコーティング施工者の技術向上、お客様に喜んでいただける高品質なキーパーコーティングの提供を目的として毎年開催されるキーパー技術コンテスト。参加者が年々増加しているため、今年は予選会の数を増やし、過去のコンテストの全日本チャンピオン決定戦に2回以上出場経験のある選手は参加不可との条件を加えての開催となり、ますますレベルアップしエキサイティングな戦いが繰り広げられました！

4月25日(火)

準決勝

仲間の想いを背負いながらも、
満ちあふれる自信。
一つのミスをも許されない熾烈な戦い。



競技車両は、
新型プリウスのシルバー！



ほんのわずかな拭き残しが勝敗を決めるすさまじい戦いとなる。どの選手も自信に満ちあふれ、その施工は見られるほどに研ぎ澄まされている。キーパーコーティングの技術はレベルは、どこまでも高く洗練されていく。

爽やかに晴れ渡った準決勝当日。今年から各都道府県ごとにチャンピオンが選ばれ、それらの選手が全日本チャンピオン決定戦でしのぎを削ることとなる。

競技車両は新型プリウスのシルバー。車半分にクリスタルキーパーを施工し、競技得点(170点満点)と時間順位加点(25位0.1点～1位2.5点、0.1点刻みで配点)の合計で競う。競技は3班に分けて行われ、最終的に11名の選手が決勝進出となる。今回の新ルールとして、レジン4回拭

きが奨励されている。間違いなくキレイに仕上がる4回拭きを厳守することで、レジン拭きの技術を高め、品質へつなげるためである。

本番がはじまると一つのミスも許されない緊張感の中にも関わらず、スポンジが塗装表面を舐めるように進んでいく選手たちの動きに、見学者や撮影班も息を飲む。決勝進出11名の表彰後、握手や抱擁を交わし、お互いをリスクペクトするシーンは感動的だった。



新潟県チャンピオン／中村 和博 選手



埼玉県チャンピオン／大星 哲 選手



茨城県チャンピオン／中山 延一 選手



北海道チャンピオン／安藤 祐子 選手



香川・徳島県チャンピオン／松浦 宏紀 選手

女性も男性も互角に勝負！「上手いは早い」を証明する11名が決勝進出!!



千葉県チャンピオン／八木 翔吾 選手



福岡県チャンピオン／岡 正篤 選手



群馬県チャンピオン／名久井 里菜 選手



長野県チャンピオン／井口 和憲 選手



岩手県チャンピオン／熊谷 純 選手



和歌山県チャンピオン／山本 麻由 選手

4月26日(水)

決勝

勝敗は、現場での一台一人真剣集中！

「上手いは早い」。技術と品質の高さは、スピードにつながる。

決勝、競技スタート前。競技車両であるガンメタのアクアが出場選手1人に1台、11台ずらりと並ぶ。選手たちは自分が施工する車で思い思いにイメージトレーニングをする。中にはじっくり柔軟体操をしたり、その場で駆け足をする選手もいた。

スタートの掛け声とともに、各選手が動きだす。これまで培った経験や努力から生まれる確信ある動きは無駄ではなく、そして美しい。お客様の車をキレイにするように、普段と同じように。冷静さを保ちながら驚異的な集中力で施工する。まさにキーパーコーティングはスポーツなのだ。

勝敗は、やはりどれだけ現場で1台1台を真剣集中で施工してきたかがポイントとなる。普段の施工をしっかり集中していれば、品質が高まり、リピーターが増える。リピー

ターが増えれば、自ずと施工台数も増え、様々な車種を経験できる。だから準決勝と決勝で車種が変わっても安定した無駄のない技術で施工ができる。

結果、全日本チャンピオンは、(株)三ツ輪商會Dr.Drive南郷通店(北海道)の安藤祐子選手が獲得。初の女性チャンピオン誕生である。競技得点は168.0点で1位であった。時間順位は2位で2.0点の加点。合計170点での優勝だ。女性選手の中でもひときわ小柄にもかかわらず、手足の長い男性選手を抑えてチャンピオンの座を奪った。今回、競技得点の高い上位2名の選手は、そのまま時間順位も上位1、2位を獲得した。品質の高さはスピードの速さにつながる。まさに「上手いは早い」が証明された決勝戦だった。



競技車両は、
アクアのガンメタ。
11台がずらりと並ぶ！



上手い選手の施工は、
ゆっくりしているように
見えるが、時間が早い。
焦って早い施工と、
無駄がなく早い施工では
品質に雲泥の差が出る。
どの選手も仕上がり
品質・時間品質が抜群
に高い。

全日本チャンピオン決定戦の熱い戦いと、
選手たちのハイレベルな技術を動画でご覧ください！

Youtubeで キーパー技術コンテスト 2017

検索

